

はじめに

本校は今年度、大阪府における地域支援整備事業のモデル校として指定され、事業の拡大を図るために「“支援“から“協働“へ～校種を越えて、共に学び・共に育ち・共に生きる～」を合言葉とし、『住之江インクルーシブ教育支援センター』を立ち上げました。①協働研究・相互研修 ②研修支援 ③支援相談 ④他機関連携 ⑤通級・サポート校との連携体制の構築 ⑥イベント開催・情報発信 といった事業の数々により、地域の支援教育を推進しつつ、本校も地域から学ぶことを試みました。

具体的な成果の一例としましては、地域校のコーディネーターの先生等を招いた「住之江インクルーシブカフェ」の開催により、ネットワークの構築をめざし、ニーズに沿ったテーマによる有意義な会議を実施することができました。また研修支援については、地域の小・中学校はもとより、高等学校の生徒向けに障がい理解に関する出前授業を実施しました。本校の個別の教育支援計画「A² (エイ・ツー)」を活用した地域支援につきましても、個々の児童生徒の実態把握と支援の方向性検討だけでなく、授業の展開時における“集団としての困り感”にも対応しております。

今後とも本校の教職員一人ひとりが、これまで本校が培ってきた専門性をより深め、エビデンスのある支援を展開していけますよう、尽力してまいります。引き続きのご指導を、どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年3月

大阪府立住之江支援学校
校長 益子 典子